



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000  
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



## 巻頭言

教育委員長 井上 美津子

平成21年に歯学部教育委員長を拝命してはや6年目となり、任期もあとわずかとなりました。本学歯学部の教育の最近の特徴としては、「チーム医療の推進」と「IT の活用」があげられると思います。



「チーム医療」は今や昭和大学の代名詞ともなっており、入学試験の面接で「なぜ昭和大学を選びましたか?」という質問に、殆どの受験生が「医系総合大学でチーム医療教育をしているから」と答えるという状況です。4学部の連携教育は低学年から段階的にカリキュラムに取り入れられており、初年次の学部合同初年次体験実習や初年次・3年次の学部連携 PBL チュートリアルを通してチーム医療の基本を学び、4年次には模擬診療録などを用いた病棟シミュレーション PBL, そして5年次の学部連携病棟実習で4学部の学生4~5名がチームとなって1週間の病棟実習を行い、実践力の習得を目指します。この病棟実習は歯学部の学生が卒業後に医科や他職種と連携して地域医療を実践していく上で、またとないチャンスです。他学部の学生と共に全身の病態や服薬状況などの患者情報を共有してプロブレムマップを作成し、治療やケアについて討議するという実習ですが、この中で歯学部生は歯や口腔内状態の診察・検査と口腔ケアプランの立案を行い、チーム医療の中での歯科医師の役割を体験します。歯学部生としての自覚が高まるとともに、他学部生にも歯科への理解を深めることができる実習ですので、ぜひ自主性と意欲を持って参加してほしいと思います。

IT の活用では、平成24年度から文科省の補助事業として始めた「IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」プロジェクトで、E ラーニングやVP(バーチャル・ペイシエント)の教材作成を行い、今年度は3, 4年次の学生の授業で実施しています。IT を用いた学習で学生の理解度を把握し、それに基づいたリソース講義を行い、さらに理解が深まったかどうかを確認するという授業を実施することで、全身疾患を有する高齢患者への理解を深め、口腔ケアや歯科治療時の対応などを学ぶことは、チーム医療実践の基礎ともなるでしょう。このような授業も、IT 教材を使って意欲的に学ぶ姿勢が必要です。今の歯

学部生は、すでに IT が発達した社会の中で育っている世代ですので、ぜひ授業を楽しみながら知識を身に付けていただきたいと思います。

## 薬学部50周年祝賀会が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

去る11月8日(土)午後1時から、品川のグランドプリンスホテル新高輪で、薬学部50周年祝賀会が開催されました。本学薬学部は昭和39年に創設され、学科の増設、大学院修士課程・博士課程の設置、そして医系総合大学の中で他大学に先駆けて医療薬学教育の充実を図ってきました。平成18年からは6年制の薬学教育が開始し、文部科学省の補助金事業で、昭和大学におけるチーム医療教育を牽引してきました。歯学部教育にも多大なご尽力を賜っています。祝賀会には大学関係者、歴代名誉教授ほかの旧教育職員、医学部・歯学部・保健医療学部同窓会役員の来賓をはじめ、薬学部同窓生700名以上が出席し、旧交を温め、思い出話に花を咲かせていました。今後も薬学部が益々発展し、地域医療の現場で活躍する薬剤師教育へ一層貢献されますように、関係者のご指導を宜しくお願い申し上げます。



## 祝 山縣健佑名誉教授が瑞宝中綬章を受章されました

高齢者歯科学講座 北川 昇



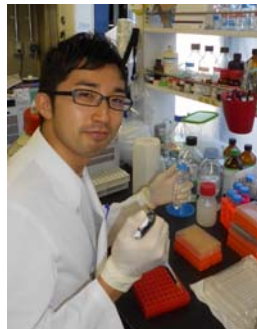
平成26年11月3日に内閣府から発表された秋の叙勲で、山縣健佑 昭和大学名誉教授が、長年にわたる歯学教育における多大なる功績により、瑞宝中綬章(教育研究功労)に叙せられました。先生は、昭和大学歯科病院長、歯学部長を歴任され、昭和大学の発展に大いに貢献されました。11月10日に行われた伝達式に出席され、その後、皇居に移動し天皇陛下に拝謁されました。

当講座としても大変名誉なことであり、薫陶を受けた我々も益々頑張りたいと思います。先生の今後のご健勝を祈念する次第です。

## 歯科基礎医学会若手研究者研究助成 に選定されました

口腔生化学講座 鈴木 大

この度、課題名「低分子量 G タンパク質 Rac1 の骨芽細胞分化における機能解析」で、平成26年度歯科基礎医学会若手研究者助成制度に選定され、大変光栄に存じます。歯科基礎医学会では、若手学会員(申請時の年齢満40歳未満)を対象に、会員の将来に



渡る研究活動の促進を図ることを目的として、歯科基礎医学の発展を担う若手研究者を奨励するために若手研究者助成制度(対象研究の期間は2年間、各年度の助成件数は1~2件)を制定し公募しています。

本研究課題は、私が大学院生の時より取り組んでまいりました研究を更に発展していくものであり、当時よりご指導してくださいました口腔生化学講座の上條竜太郎教授と指導教員の山田篤先生にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。また、いつもご支援くださいます口腔生化学講座の皆様と学内外の共同研究者の方々にも御礼申し上げます。今後も歯科基礎医学の研究を通じ口腔保健に寄与していきたいと存じます。

## 平成26年度永年勤続者表彰式が開 催されました

歯学部長 宮崎 隆

去る11月11日(火)に上條講堂において、学校法人昭和大学の平成26年度永年勤続者表彰式が執り行われました。



小口勝司理事長から、日本の雇用形態が変わりつつあるなかで、本学は日本的雇用形態を大事にして家族のような職場も重要であると考えているので、永年その一員として大学の発展に貢献していただいた永年勤続者に感謝するとの挨拶がありました。

今年度の表彰対象者は137名で、小口理事長から各勤続年代表者に、表彰状と記念品が授与されました。昭和大学宣言に引き続き、校歌を斉唱し、壇上で記念撮影を行いました。

歯学部・歯科病院関係の表彰者は以下の通りです。(敬称略)今後も益々お元気でご活躍されますようお祈り申し上げます。

35年:横山厚之助(歯科病院中央技工室), 島 昭子(歯科病院中央技工室), 岡田和也(歯科病院栄養

科)

25年:榎 宏太郎(歯科矯正学), 宮澤 康(歯周病学), 鈴木恵美(歯科病院歯科衛生士室), 半田正彦(歯科病院中央技工室), 辻 美枝子(歯科病院歯科衛生士室)

15年:入江太郎(口腔病理学), 森崎弘史(口腔微生物学), 石浦雄一(インプラント歯科学), 京泉秀明(美容歯科学), 木下潤一郎(歯内治療学), 浅里 仁(小児成育歯科学), 加藤久美子(歯科病院歯科放射線科)

## 平成27年度推薦・編入学試験が実施 されました

入試常任委員 山本 松男

平成26年11月1日(土)に、平成27年度歯学部、薬学部、保健医療学部の推薦入学試験と歯学部の編入学試験が旗の台キャンパスで行われました。

推薦入学試験(25名募集)の志願者数は59名(昨年度45名)、編入学試験の志願者数は15名(昨年度21名)と、昨年よりも志願者数は増加しました。

基礎学力テストに引き続き、小論文、面接と、多大なるご助力をいただき関係諸氏に深く感謝申し上げます。合格発表は11月5日(水)午後3時に行われ、推薦入学試験では30名(男11, 女19)が、編入学試験では2名(男1, 女1)が合格しました。

今後の入試日程を表に示します。1月29日(木)の選抜Ⅰ期・センター利用Ⅰ期入学試験の東京会場は五反田のTOCです。教職員の皆様には今後ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

| 入試種別<br>(募集人員)         | 出願期間             | 試験日                            | 合格発表  |
|------------------------|------------------|--------------------------------|-------|
| 選抜Ⅰ期<br>(50名)          | 12月24日<br>~1月20日 | 1月29日                          | 2月2日  |
| センター利用<br>Ⅰ期<br>(約10名) | 12月24日<br>~1月15日 | セ:1月17・<br>18日<br>面接:1月<br>29日 | 2月5日  |
| 編入Ⅱ期<br>(若干名)          | 12月24日<br>~1月15日 | セ:1月17・<br>18日<br>面接:1月<br>29日 | 2月5日  |
| 選抜Ⅱ期<br>(約8名)          | 2月2日<br>~2月12日   | 2月21日                          | 2月24日 |
| センター利用<br>Ⅱ期<br>(約3名)  | 2月2日<br>~2月12日   | セ:1月17・<br>18日<br>面接:2月<br>21日 | 2月24日 |

## 行事予定

広報委員長 中村 雅典

12月 6日(土):昭和学生会総会

12月 6日(土):大学院Ⅰ期入試

## インフルエンザワクチン接種について

総合内科学部門 井上 紳

東京都感染情報センターのインフルエンザ発生報告では本年度の9月1日(第36週)以降、第37週にシーズン最初の臨時休業(学級閉鎖等)報告があり9月中に小学校、中学校、高校等で5件ほど発生しました。歯科病院では11月25日に学生2名が発症しました。全て AH3亜型です。昭和大学歯科病院の教職員に対する予防接種は11月18日、26日に実施されました。インフルエンザの予防対策はビタミン C 摂取とバランスのとれた栄養、十分な睡眠時間と適切な休養が基本です。ほかに、人混みを避ける、適度な室温の設定や湿度の補給、手洗いとうがいがあります。発熱や倦怠感、関節・筋肉痛などの異常があれば速やかにインフルエンザ迅速テストを受け、陽性の場合には服薬と自宅安静をお願いします。現在主流の治療はノイラミニダーゼ阻害薬であるラニナビル(イナビル®)単回吸引で、現在のところ耐性の報告はでておりません。(日本感染症学会ホームページ)なお、同薬で難治の新型インフルエンザには新たな作用機序をもつファビピラビル(T-705, アビガン®, RNA ポリメラーゼ阻害薬)が使用される予定です。体調不良時には自宅安静のほか歯科病院総合内科受診をお願いします。

## D5学部連携病棟実習が実施されました

歯学教育学部門 片岡 竜太

昭和大学では「チーム医療ができる医療人の養成」をキーワードとして、4学部連携教育を推進しています。この教育の仕上げは、医歯薬学部5年生、保健医療学部看護、作業療法学科4年生、理学療法学科3年生が参加する「学部連携病棟実習」です。本実習は4学部4~5人の学生で構成される120グループが昭和大学7附属病院の病棟において入院患者さんを1週間担当する実習(必修)で、平成23年度から実施しています。今年度は第I期を6月30日~7月4日、第II期を9月29日~10月3日、第III期を10月20日~24日に延べ120病棟で実施しました。各グループで学生は連携しながら一人の患者さんを担当し、毎日朝夕にミーティングをして、情報を共有した上で、患者さんにとって望ましい治療ケアプランを立案し病棟の医療スタッフに提案をします。歯学部の学生は各病院の歯科室で口腔診察をして、結果を学生グループに説明し、口腔ケアプランを立てた後で歯学部指導教員の指導をうけて、学生グループ



に提案をします。また医師の診察や薬剤の服薬指導、バイタル測定や看護ケアの見学を通じて、他職種の業務についての理解を深めています。

初年次体験実習から3年次・4年次の学部連携PBLを通じて、コミュニケーション、チームワーク、自己主導型学習、さらに患者さんの問題をグループで把握して、治療ケアプランをグループで立案する能力を培ってきましたが、学生はその成果をこの実習で確かめるとともに、チーム医療の重要性を実感しています。本学の卒業生が将来チーム医療に参加することを期待します。



## 平成26年度解剖慰霊祭が開催されました

口腔解剖学講座 中島 功

平成26年度解剖慰霊祭が10月21日(火)午後2時より、御遺族・来賓・学内関係者・学生の参列のもと、上條講堂においてしめやかに行われました。本年度慰霊された献体者は病理解剖または解剖学実習のための正常解剖に供された方々で、この中には歯学部の解剖学実習のために献体された方が25柱含まれています。式には約71名の御遺族ならびに同伴者69名の計140名と、医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部の学生が参列しました。今年の歯学部の解剖学実習は4月から7月まで行われました。医学・歯学を学ぶためには解剖学実習はなくてはならず、そのためにはご遺体の提供は不可欠です。献体者と御遺族に対して大切なご遺体を解剖させていただいた御恩を深く感じて、お礼をするために歯学部2年生が参列いたしました。

開会の辞に続いて、物故者の御冥福をお祈りして、参列者全員で黙禱が捧げられました。昭和大学を代表して藤が丘病院臨床病理診断科の大池信之准教授が祭文を述べられ、続いて医学部学生代表として渡辺拓哉さん、歯学部学生代表として中村怜菜さんが弔辞を述べました。小出学長より参列者に御礼と感謝の気持ちを述べた御挨拶があり、次いで参列者全員が祭壇の前で献花を捧げて午後3時に解剖慰霊祭は終了しました。



## セミナーを開催しました

歯学部4年 金箱 志桜都

去る10月2日、「学校では教わらない kampo」セミナーを開催しました。講師は、耳鼻咽喉科の医師として治療に漢方薬をお使いになられている正木稔子先生で、漢方の効能や使い方について解説いただきました。当日は、昭和大はもとより、東大や日医大などからも参加があり、5階カンファレンスルームは満席となりました。また、準備された7種類の漢方薬や漢方茶を味見しました。私は、以前より漢方に興味があったのですが、大学の授業では詳しいところまでは学びませんでした。そこで、友人6名とともに、今回のセミナーを企画しました。場所の確保や告知、会場への案内など、準備が大変でしたが、参加者が思いのほか喜んでくれたことを何よりも嬉しく思いました。これからも、積極的にこのようなセミナーを開催していきたいと思えます。最後に、セミナーの開催に協力してくださった歯科薬理学講座の高見正道先生にこの場をお借りして感謝申し上げます。



## 歯学部11期生 大貫佳鼓先生が「しらせ」の業務に従事します

歯学部長 宮崎 隆

海上自衛隊勤務の大貫佳鼓先生(2佐, 歯学部11期生)が、この11月から約半年間、歯科医務官として砕氷船「しらせ」に乗船することになりました。去る11月3日に、歯科補綴学講座の樋口講師と一緒に、大井埠頭に停泊中



の「しらせ」の見学をさせていただきました。「しらせ」は海上自衛隊に所属する艦で、南極の昭和基地への物資および人員の輸送を業務とし、観測隊への支援を行っています。船体の長さは約140メートルもあり、出航に向けてコンテナを多数積み上げていました。ビデオで紹介されていた厚さ5メートルの氷を割りながら、破冰して航行する様子は圧巻でした。「しらせ」には医官と歯科医官が乗艦し、約170名の乗組員の健康管理と医療を行います。歯科室は医療施設の中にあり、歴代担当者のご努力により、歯科用ユニット、

パノラマエックス線装置、デンタルエックス線装置ほか、最低限の設備が設置されており、一般歯科診療ができる環境が整備されていました。「しらせ」は、11月11日に晴海埠頭を出港し、オーストラリアを経て南極の昭和基地を目指します。大貫先生は乗組員の口腔健康管理と歯科治療に従事し、昭和基地の隊員の健康管理も行います。道中の無事を祈り、成果をあげて無事に帰国されますようにお祈り申し上げます。



## 学生生活指導のための教職員ガイダンスが開催されました

歯学部学生部長 上條 竜太郎

平成26年10月30日、上條講堂で「学生生活指導のための教育職員ガイダンス」が開催されました。本ガイダンスは、日頃学生教育にご尽力いただいている先生方を対象として、学生教育に関する最新の話題や諸問題、参考となる事例等をご講演いただくもので、平成17年より毎年開催され、本年度で第10回となりました。本年度のガイダンスは宮崎 章学生部長(医学部・教授)の開会の辞、小出 良平学長の挨拶に続き、高木 康教授(医学教育学・教授)より「良き学生を育てるために—最近の医学教育トピックスも含めて—」と題してお話いただきました。日々の学生教育に直結する興味深いお話で、非常に有意義なガイダンスとなりました。

## 受賞

広報委員長 中村 雅典

- ・第18回日本補綴歯科学会 東京支部学術大会 優秀演題賞 原 真央子(歯科補綴学)
- ・第73回日本矯正歯科学会大会学術大会 優秀発表賞 中山 睦子(歯科矯正学)
- ・第51回日本口腔組織培養学会学術大会 ベストプレゼンテーション賞 中山 睦子(歯科矯正学)



## 編集後記 口腔微生物学講座 深町 はるか

寒さが日一日と増してまいりました。恒例となりました旗の台校舎のイルミネーションも輝いております。

末筆となりましたが、ご多忙中、ご執筆頂きました先生方に深謝申し上げます。